

第 86 回 東葛しぜん観察会

自然素材で X'mas リース作り

中川康代（流山市）

日 時：2012 年 11 月 25 日（日）10～12 時 天気：晴れ

場 所：松戸市民会館（松戸市）

参加者：大人 23 名、子ども 7 名、指導員 10 名

担当指導員：日野原純子 高橋 節 中川康代

自然素材を使っのリース作りと申うことで、会場には指導員の皆さんが集めてくださった、たくさん蔓や木の実が勢ぞろいしました。

モミジバフウ、メタセコウア、ユリノキ、ヒマラヤスギ、ユウカリ、スギ、ナンキンハゼ、カクレミノ、ハン、ヤシャブシ、ムクロジ、シャリンバイ、カラマツ、クルミ、ワタ、トキリマメ、トチノキ、マツなど。

参加者の皆さんは宝物を探すがごとくに木の実を選んでいました。

一般的な円形のリースと五角形の星型リースのどちらかの作品作りの開始です。セイタカアワダチソウの茎をつかっの星型リースをつくる方が多かっようです。明治時代にやってきて、今は害草と言われているセイタカアワダチソウの固い茎が、このような形で利用できたことに嬉しい気持ちになりました。

最後に全員で作品の発表をしました。各々豊かな感性で、参加者の数だけ、素晴らしい作品ができました。7 名の子どもたちも根気よく、大胆で楽しい発想で、のびのびとした作品に仕上がっていました。

多種類の木の実や蔓などを前に、私たちの身近な公園、林、街路樹にこんなにも豊かな自然が存在しているのだとの驚きの声が聞こえ、「楽しかった。またこんなイベントを計画して欲しい」との声も聞かれました。

自然の色の味わい深いリースを手に参加者全てが笑顔で閉会できたことはなによりでした。今後、皆さんがこの体験を通じ、通学や散歩などの日常の時々、今まで以上に自然を身近に感じることができるよう願っています。



茎を星形に組む要領を説明



木の実などがたくさんあって 楽しいリース作りでした